

認知症と 共に生きる町 ふちゅう。

認知症にやさしい町ふちゅうをスローガンに、認知症になっても意思が尊重され、希望を持ち、住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けるための取り組みを紹介します。

☎介護保険課（府中市地域包括支援センター・☎40-0223）

自立した生活をサポート

認知症初期集中支援チーム

認知症は、早期診断・早期対応が大切です。早く対応することで、病気の進行を遅らせたり、介護の負担軽減を図ることができます。

チームは認知症の専門知識を持つ、医師や医療・介護の専門職で構成されています。

認知症またはその疑いがある人の自宅を訪問し、医療機関への受診や介護サービスの利用支援、認知症の状態に応じた助言などの支援を行います。初期段階の支援をおおむね6カ月間集中的に行うことで、自立した生活をサポートします。

「認知症だと思うけど、どうすればいい？」と思ったら、相談してください。

対象者

市内の自宅などで生活している40歳以上の認知症が疑われる人、認知症の医療や介護のサービスを受けてない人、または中断している人など
※利用料は無料です。

サポート体制

- ▷南部圏域…光の丘病院
- ▷北部圏域…湯が丘病院

他にも、認知症サポーター養成講座やオレンジカフェ（認知症カフェ）、認知症の人と家族のつどいなど、認知症の人やその家族を支援するさまざまな取り組みがあります。

詳しくは、市のHPや府中市地域包括支援センターへお問い合わせください。



認知症サポーターキャラバン
マスコット「ロバ隊長」

見かけたら二次元コードを読み取ろう

府中市高齢者等見守りシール交付事業

認知症高齢者が徘徊^{はいかい}した場合、早期に発見・保護するために、事前に配布した二次元コード付きのシールを徘徊の恐れがある人の衣服などに貼ります。

一人でいるところを発見したら？

シールを貼った人を見かけた時は、二次元コードを読み取ることで、家族および介護者とインターネット上の伝言板で連絡を取り合い、早期の保護につながります。

利用方法

事前に簡単な情報の登録を行います。登録後に二次元コードが印刷されたシールを交付しますので、徘徊の恐れのある人の衣類や所持品などへシールを貼り付けることで利用可能です。
※登録料や利用料は無料です。



▲実際の耐洗ラベル



▲実際の蓄光シール
※二次元コードは、使い方の動画です。



位置情報をいつでも把握

府中市徘徊高齢者等家族支援サービス



▲ページイメージ

認知症の高齢者が徘徊した場合に備えて位置情報端末を携帯していただき、いつでも現在地を確認ができます。

指定したエリアから出た場合、通知が届き早期発見が可能です。

確認方法

インターネット端末からサービス用のページにアクセスしたり、コールセンターに電話をすることで、携帯している人の現在地を確認ができます。

利用方法

事前の申請が必要です。サービスの利用により、他者に迷惑をかけた場合に備えた賠償制度も付帯されます。

※月額500円の利用料が必要です。位置検索や賠償制度に追加料金はかかりません。